

「違いを認め合う」

動物の雑種が「ミックス」と言われるようになったのはいつ頃からだろう。「雑種」よりも「ミックス」の方が存在が認められているようで心地よい。「雑」という漢字には「まじる」とともに「いやしい」や「低俗な」という意味もあり「雑種」よりも「ミックス」の方が言葉から受ける印象は良い。

「雑種」とひとくくりになされるからであろうか、雑種犬はほとんど見かけなくなった。ペットとして飼われている犬のほとんどは純血種になりつつある。雑種犬の方が病気に強く丈夫で飼いやすいのに見向きもされなくなってしまう。

さて、人の場合は「ミックス」

ではなく「混血」や「ハーフ」と言われる。混血は、対象を卑しめ見下すように使われることが多かった。容姿や肌の色の違いなどから、からかわれたり、仲間はずれにされた人も多い。

最近では、「ハーフ」というとスタイルが優れているなど良い点を認めるようにプラスのイメージで使われていると思っていた。しかし、ある新聞のコラムを読んで、「ハーフ」の方々は快く思っていないことを知った。フランス生まれで日本人男性と結婚した「西澤アメリカ」さんの書かれたコラムの一部を紹介する。

《ほとんどの日本人は、つらく当たったりするわけではないの

ですが、「ハーフ」という言葉にはネガティブな意味合いが含まれています。

多くの外国人、民族をまたいだカップルの間に生まれた子どもにとつて「ハーフ」という言葉は人種差別的で苦痛を与える言葉です。

私たちがからすれば「本物の日本人」と比べて劣っていると考える方がるように聞こえたりなりません。》

「ミックス」や「ハーフ」などと括らず、個々の良いところを認め合っていくところこそ大切なのではないでしょうか。みんな違うのが当たり前なのですから。

東秩父村教育委員会

小林 洋介

☆いきいき男女☆

応援プロジェクト!



大字皆谷在住
うめざわのりあ
梅澤 敬生さん
41歳

【あなたの日常は?】

東松山市内の消防署に消防官として勤務しています。24時間勤務のため、土日という区分はなく、非番、公休日が休日にあたります。趣味は、海釣りや料理で、釣れた魚を自分で料理することが楽しみです。

【今後の男女共同参画社会に望むことは?】

私が勤務する比企広域消防本部には、女性消防官がいます。出産・育児を経て24時間勤務をしている職員もあり、今後も女性が活躍できる環境整備を進めています。

*役場男女共同参画担当から一言

消防官として昼夜関係なく、住民の安心・安全を守りながら、休みの日は自分の趣味の時間を楽しみ、素晴らしいワークライフバランス（仕事と生活の調和）ですね。

男女がともに働きやすい職場環境が確保され、より多くの女性消防官が輝いて働けるよう、消防官皆様の今後ますますのご活躍を応援しています!

東秩父を全力応援!

地域おこし協力隊通信



11月は外部のイベント出展が多く、協力隊も3ヶ所に参加して来ました!

12日は和光市民まつり、14日に県庁オープンデー、19日は東京国際ファームで地域の魅力発信&移住交流フェアに出展をしました。

イベントでは東秩父村の観光PRだけでなく、和紙を使った体験教室を実施しています。日常の中で和紙に触れる機会が少なくなっているの、和紙を珍しく思われる方も多いです。今回は秩父市地域おこし協力隊の方と新しく開発した体験教室も実施し、改良を加えながらまた次回のイベント等で実施していく予定です。

まだまだ東秩父村の名前や埼玉に村があることも知られていないのが現状です。でも来場者の方と直接話してみると、都心から近い距離感でこれだけの自然環境があることは非常に面白みのある地域だと言われることもあります。今回のような直接紹介できる機会に「埼玉にある村」の存在を知っていただき、貴重な感想をフィードバックしていきたいです。

